

応用物理学会エネルギー・システム研究会 2026 応物エネシス夏のセミナー

主催：応用物理学会 エネルギー・システム研究会

2026.06.02 版

開催日程：2026年9月16日（水）～9月19日（土）

開催場所：沖縄県宮古島市

0) 注意事項

- 服装は南の島に合わせた自由なリラックスした服装でおいでください。
- 体調不良の場合は無理せず参加を控えるようご検討ください。
- 歩きやすい靴でご参加ください：視察では歩くことを予定しています。
- 時間等詳細は参加時に都度連絡を行う部分があります。ご了解ください

質問等ございましたら、下記の担当幹事までご連絡をお願いします。

応用物理学会 エネルギー・システム研究会 夏のセミナー担当

小栗 和也	k_oguri@tokai.ac.jp
藤井 克司	katsushi.fujii@riken.jp
河野 智謙	kawanotom@gmail.com

申し込み締め切り：

2026.08.31 までに最終ページを参考にお申し込みください

1) 全体計画・予定

1-1) 実施時期

「2026年度応用物理学会エネルギー・システム研究会」の
「宮古島夏のセミナー」は 2026.09.16 (Wed) - 19 (Sat) で開催

1-2) 詳細

テーマ

「廃棄物・未利用エネルギー利用と再生可能水素・二酸化炭素還元の問題点と解決策」
(特に島しょ地域などの閉鎖空間における廃棄物・未利用エネルギー・サイクルと再生可能水素・二酸化炭素利用)

09.16 (Wed) 各地からの到着

到着時、午後からの到着者に対しては宮古空港にて参加者確認を予定
(到着出口にて担当者が出迎え確認・予定伝達)
午後の本土からの直行便を想定 (東京 ANA の場合 15 時頃到着)
夕食前 17:00 頃から、今回のセミナーについての説明、及び、参加者各自の自己紹介
(詳細の事項及び場所は到着時お知らせします)

09.17 (Thu) テーマ・ディスカッションと講演

テーマ・ディスカッション 1 : 別紙参照

モデレーター (主担当); 東海大学 内田晴久、北九州市立大学 加藤尊秋
09:00 - 15:00 (会場: 宮古島市未来創造センター: 研修室 1,2)
09:00 - 09:10 受付

テーマ・ディスカッション

「未利用エネルギー利用と再生可能水素・二酸化炭素還元の問題点と解決策」

何名かの先生方にテーマに沿ったいくつかの紹介をお願いし、
その内容を基に議論を行い、提言にまとめることを目標として議論
当日のテーマに沿った内容紹介も歓迎しますが、最終的に提言とするため、
参考文献等データの所在は明示のこと
(最終的には、Jpn. J. Appl. Phys., Brief Notes として投稿を予定)

話題提供者 (仮):

東海大学: 長谷川真也 熱音響による余剰熱利用

琉球大学： 中川鉄水 アンモニアボランによる化学エネルギー蓄積
理化学研究所： 藤井克司 二酸化炭素還元と水素生成の利用

専門講演会

(興味がある方は自由に参加可能です)

15:30 – 17:30 (会場：宮古島市未来創造センター：研修室 1,2)

宮古島市におけるエコの取り組み

講演 1 (仮)：

沖縄・宮古島市におけるエネルギー・システム研究会の活動

講演者所属・氏名

講演 2 (仮)：

宮古島における水利用の現状

講演者所属・氏名

<学生セッション>：アブストラクトテンプレート参照

(興味がある方は自由に参加可能です)

17:30 – 18:30 (会場：宮古島市未来創造センター：研修室 1,2)

モデレーター (主担当)；東海大学 内田晴久、北九州市立大学 加藤尊秋

テーマ：「エネルギー・システム研究会に関連するテーマ」

ポスターセッションを開催する (主に学生向け：高校生・大学生)

ポスターサイズは「A1」とする

申し込み締め切り：8月末日

アブストラクトを理化学研究所 藤井克司まで送付のこと

(藤井克司 katsushi.fujii@riken.jp)

「2026年度エネルギー・システム研究会夏のセミナー賞」を選出予定

09.18 (Fri) テーマ・ディスカッション、視察、一般向けセミナー

テーマ・ディスカッション 2 (前日の続き)：別紙参照

モデレーター (主担当)；東海大学 内田晴久、北九州市立大学 加藤尊秋

09:00 – 12:00 (会場：宮古島市未来創造センター：研修室 1,2)

09:00 – 09:10 受付

テーマ・ディスカッション

「廃棄物・未利用エネルギー利用と再生可能水素・二酸化炭素還元の問題点と解決策」

前日の議論の簡単なまとめを基に、さらなる議論と提言のまとめ

島内視察

12:00 – 17:00

「離島における再生可能エネルギー利用・資源の観光利用とその起源」

1. 太陽光発電と蓄電（市役所駐車場の太陽発電施設）
2. 昼食（伊良部島・海の駅）
3. 渡口の浜
4. 佐和田の浜
5. 下地空港（太陽光設備他）
6. サバウツガー（佐良浜地区）

宮古島向け公開：一般向けセミナー：別紙参照

19:00 – 21:00（会場：宮古島市未来創造センター：研修室 1,2）

講演 1（仮）

ごみと資源循環

東海大学

小栗和也

講演 2（仮）

地球温暖化と植物・生物の関係

北九州市立大学

河野智謙

後半 30 分程度は質疑と意見交換（参加者全員）を予定

09.19 (Sat) 出張科学教室と島内視察

二つのルートに分かれて実施

<1> 宮古島の昔・今と未来を考える視察

07:30 – 当日 14:00 以降の飛行機であれば接続するよう計画（もしくは、17:00 くらいまで）

早朝の池間島（自然を観察する）

大神島視察（宮古島の歴史と文化に焦点を当てる）

島尻港 8:30 発

大神島港 11:45 発

この後、時間に余裕がある方は、帰りの便に和せて、宮古島島内視察

<視察先例>

- ・島尻マングローブ林
- ・狩俣風力発電設備
- ・雪塩ミュージアム
- ・宮古島メガソーラー実証研究設備跡（メガソーラー展望台）
- ・地下ダム など

<2> 出張-科学教室：別紙参照

09:30 – 12:30（会場：宮古島市未来創造センター：研修室 1,2）

コーディネーター： 東海大学 小栗和也、北九州市立大学 河野智謙、琉球大学 中川鉄水

内容（仮）

- ・発電して遊ぶ（手回し発電機、マルチメータ 3セット程度）
- ・浮沈子作成（できれば 20 個程度準備）
- ・水質調査（パックテスト）
- ・二酸化炭素の溶解実験（CO₂ 缶 10 本程度：40 回分くらい）
- ・アルカリに振れる実験：焼却灰・肥料？
- ・温度を調べる（サーモグラフィー 1 台）
- ・光のスペクトル・分光器
- ・水素ロケット

午後は島内視察に合流予定

この後、夕方から科学教室反省会、及び次年度計画の会合

土曜日に宮古島を発たれる方に対しては時間に合わせた宮古空港への交通手段の確保を行います

3) 参加申し込み方法

参加には申込書を理化学研究所 藤井までお送りください（別紙）

katsushi.fujii@riken.jp

参加費：

- ・一般： 30,000
- ・エネルギーシステム研究会会員： 25,000
- ・学生： 15,000

参加費は、カード決済もしくはコンビニ支払いとなります

支払い申し込み URL：

https://eventpay.jp/event_info?shop_code=7677774341986275&EventCode=C709597685